

農業女子プロジェクト 第5期に向けたアンケート調査結果の概要

1. アンケート期間 2017年9月13日～10月5日

2. 回答状況

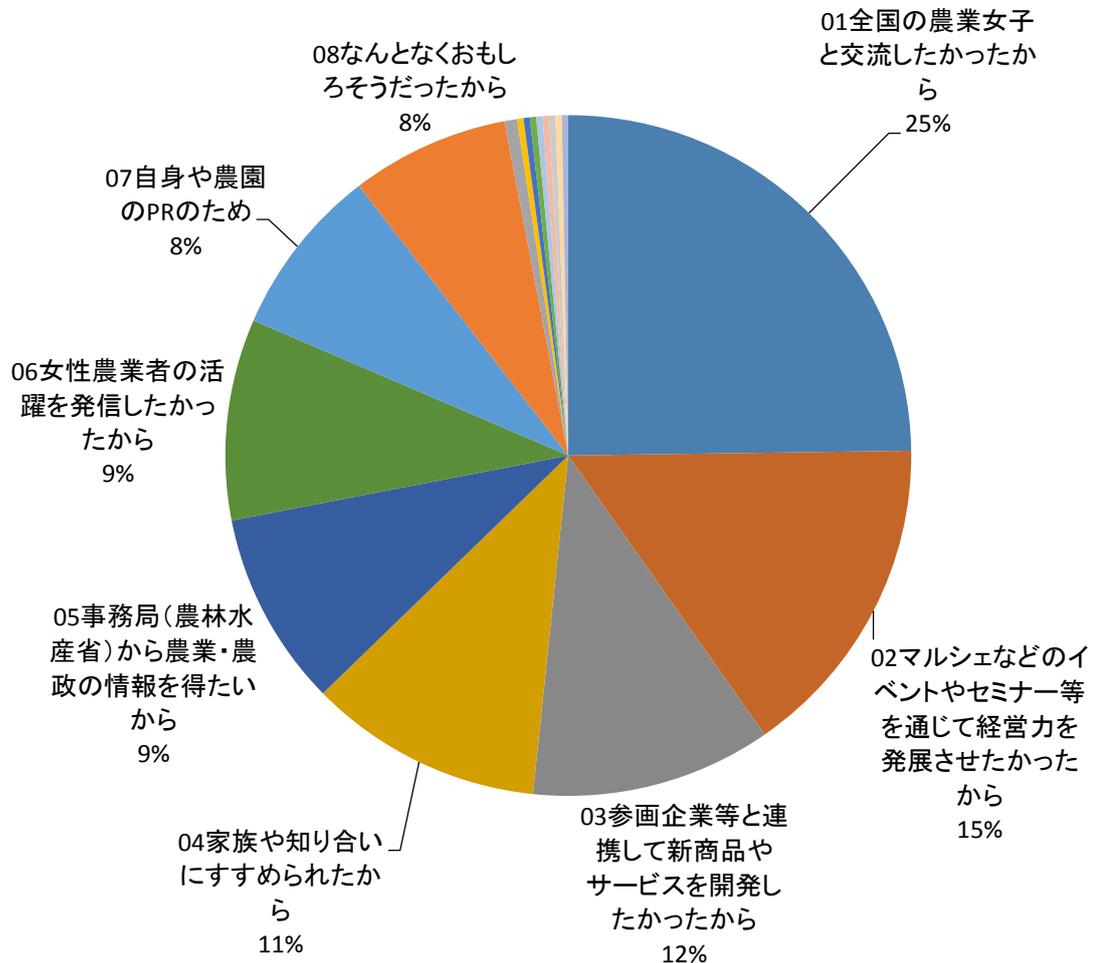
メンバー数 (9月現在)	有効回答数	回答率 (%)
621	335	53.9%

2017.10.5現在

農林水産省農業女子プロジェクト事務局

データの個数 / 名前

Q1 PJに参加しようと思った理由

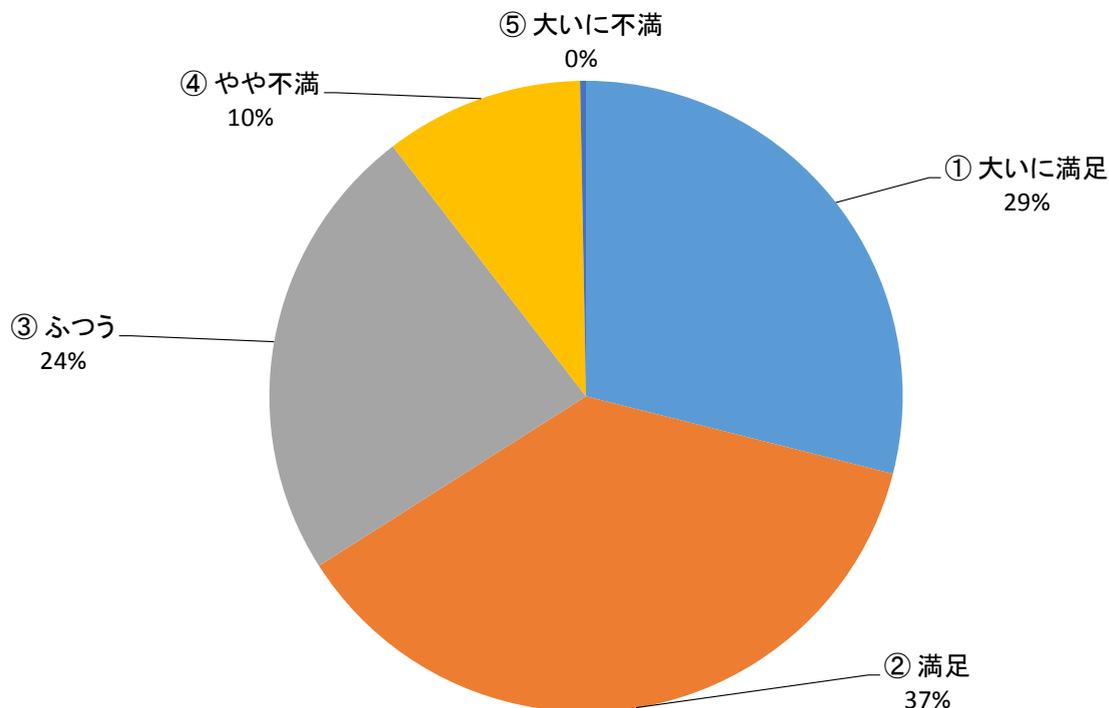


Q1 農業女子プロジェクトに参加しようと思った理由は何ですか？

	回答数	構成比
全国の農業女子と交流したかったから	83	24.8%
マルシェなどのイベントやセミナー等を通じて経営力を発展させたかったから	52	15.5%
参画企業等と連携して新商品やサービスを開発したかったから	38	11.3%
家族や知り合いにすすめられたから	37	11.0%
事務局(農林水産省)から農業・農政の情報を得たいから	31	9.3%
女性農業者の活躍を発信したかったから	32	9.6%
自身や農園のPRのため	27	8.1%
なんとなくおもしろそうだったから	25	7.5%
教育機関の取り組み等を通じて未来の農業者を育てたかったから	2	0.6%
その他 立ち上げの際にお誘いいただいて	1	0.3%
その他 農業者としてのモチベーション向上のため	1	0.3%
その他 憧れてる農業女子の方から誘われたから	1	0.3%
その他 自分の世界を広げたかったから	1	0.3%
その他 事務局の方に誘って頂いから	1	0.3%
その他 企画段階から相談を受けていたから	1	0.3%
その他 メンバーがキラキラしていて素敵な組織だと思ったから	1	0.3%
その他 スキルアップの為	1	0.3%
合計	335	

データの個数 / 名前

Q2 PJに参加して満足していますか



Q2 農業女子プロジェクトに参加して満足していますか？

	回答数	構成比
① 大いに満足	97	29.0%
② 満足	124	37.0%
③ ふつう	79	23.6%
④ やや不満	34	10.1%
⑤ 大いに不満	1	0.3%
合計	335	100.0%

Q2-2 「やや不満」「おおいに不満」と答えた方の不満な理由

	回答数
時間の確保が難しく参加できないから	17
首都圏の開催が中心だから	11
首都圏の開催が中心だから、時間の確保が難しく参加できないから	5
自分にとってプラスになる活動がないから	3
その他	
なかなか参加できる条件がない	
企業側のメリットはあるかもしれないが、忙しい農業女子にとって副業になり得ていない	
地方での活動がなく、地域のブランド力を活かせていないから	
参画企業の取組がその企業の地方支社まで落とし込まれていないから	

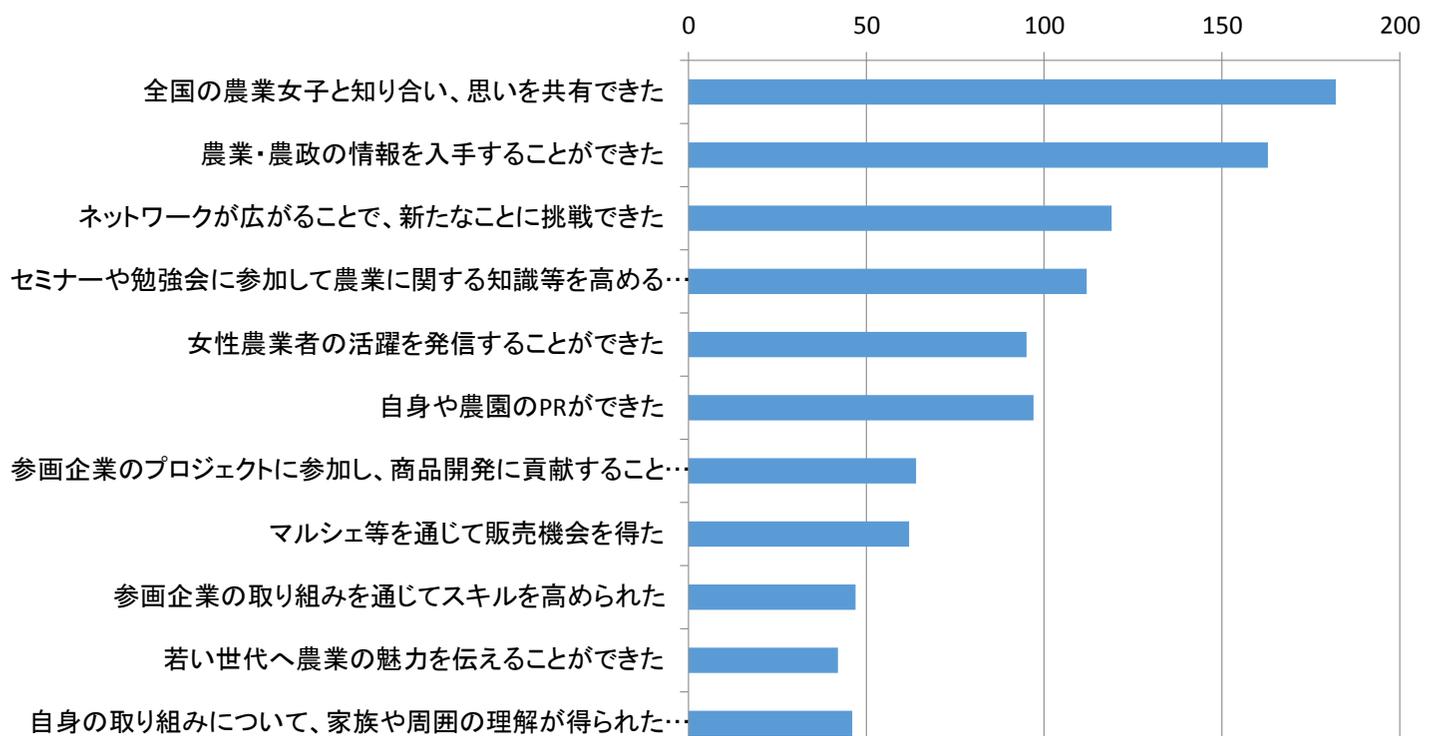
Q3 農業女子プロジェクトを継続しますか？

	回答数
継続する	333
継続しない	2
合計	335

Q3 継続しない(2名)具体的な理由

子育てがあり、そして遠くのため参加できない・・・
名前だけで会員としての活動の意義が見いだせないから

Q2-1 農業女子PJに参加して良かったと思うこと(複数回答)



Q2-1 農業女子プロジェクトに参加して良かったと思うことは何ですか(複数回答)

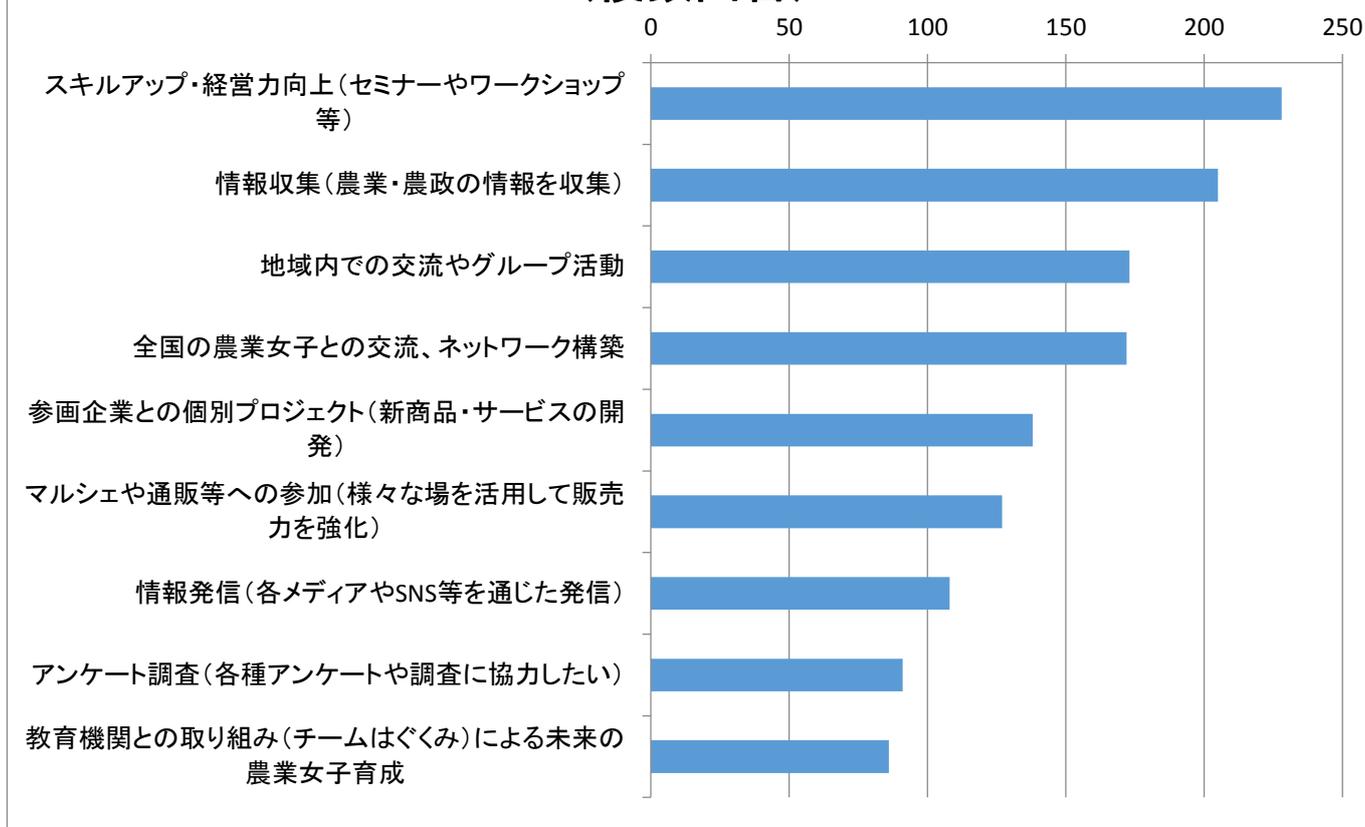
回答数

良かったと思うこと	回答数
全国の農業女子と知り合い、思いを共有できた	182
農業・農政の情報を入手することができた	163
ネットワークが広がることで、新たなことに挑戦できた	119
セミナーや勉強会に参加して農業に関する知識等を高めることができた	112
女性農業者の活躍を発信することができた	95
自身や農園のPRができた	97
参画企業のプロジェクトに参加し、商品開発に貢献することができた	64
マルシェ等を通じて販売機会を得た	62
参画企業の取り組みを通じてスキルを高められた	47
若い世代へ農業の魅力を伝えることができた	42
自身の取り組みについて、家族や周囲の理解が得られた(状況が変わった)	46

その他(自由記入)(主なもの)

まだ入ったばかりで何も参加出来ていませんが、色々な情報をもらえるので、入って良かったと思っています。
新たなことへの挑戦のきっかけとなった。
就農して間も無く、まだ十分にプロジェクトに参加できてないので、これから積極的に参加の機会を増やしていきたい
まだ参加して間も無く、同時に現在、子育て中で思うように活動に参加できていませんが、できる範囲でプロジェクトには参加し交流することにより情報収集ができ、また刺激をもらえております。
農業女子と知り合えたこと
みなさんの活動を知ることができた
農業の現状を客観的に知ることができた
TVの取材を受けた
自身の営農や女性部活動などについて考えるいい機会になった。
農作物の発信手段に関連する知識が得られた
全国の農家女子と知り合うことで、農業に関する知識が増えた。女性の農業経営者は身近に多くはおらず、又経営者でなくても主体的に農業に関わっている方と知り合う事で、自分の意識が高まった。
農業女子の活動をきっかけに、食農審や講演などに参加する機会を頂き、新たな世界が広がった。学ばせていただく事が多く、人との出会いにも感謝。
プロジェクト参加により地元の広報や農協、中学校などからプロジェクトのホームページを見て色々なお話をいただき自分の思いや活動、仕事内容などを伝える場をいただくことができました。
カチカチ農楽が〜るを立ち上げるきっかけになりました。
農業に従事して今まで、まだまだ閉鎖的な私のいる地域では、農業経営について近い考え・経営理念の方に出会う事ができませんでした。新しい事や地域で誰もしていない事をしてきて、夫婦共に色々言われたこともありましたが、それが間違っていなかった事を確信でき、また同じ考えの女性もいるんだと世界が広がりました。参加して1番良かった事は、そういった心のモチベーションです。
農業女子プロジェクトを通し地元へ、農業女性のあり方や地域の皆に伝えなくてはならないことを伝えた
色々な人と出会えた。農水省、農業者、参画企業、だけではなく、そこからの繋がり、更に視野を広く持て、自分の農業への思いの再確認、向上、アイデア、時間が許す限りの参加になってしまっているが、全て私にとって、刺激的で、本当は全ての会に出席したいくらい、入って良かったと思います。
応援して背中を押してくれる仲間が出来ていろいろなことに挑戦できるようになりました!!

Q4 農業女子PJで取り組んでいきたいこと (複数回答)



Q4 農業女子PJで取り組んでいきたいこと

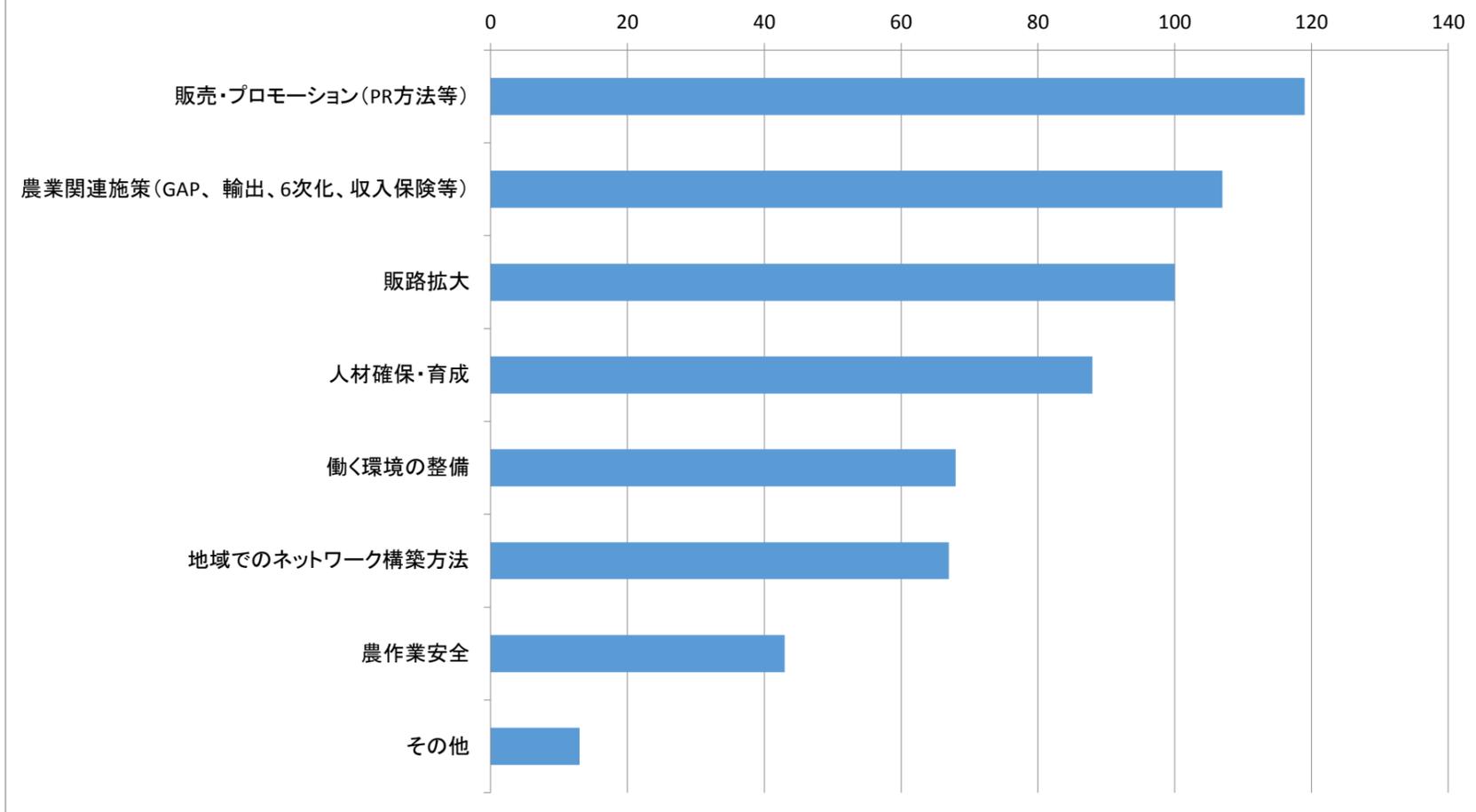
回答数

活動内容	回答数
スキルアップ・経営力向上(セミナーやワークショップ等)	228
情報収集(農業・農政の情報を収集)	205
地域内での交流やグループ活動	173
全国の農業女子との交流、ネットワーク構築	172
参画企業との個別プロジェクト(新商品・サービスの開発)	138
マルシェや通販等への参加(様々な場を活用して販売力を強化)	127
情報発信(各メディアやSNS等を通じた発信)	108
アンケート調査(各種アンケートや調査に協力したい)	91
教育機関との取り組み(チームはぐくみ)による未来の農業女子育成	86
合計	1,328

その他(自由記入)

小学生～高校生にみそ作りや納豆作りなど、日本の食と一緒に作る活動をしていきたい。体験受け入れをして、伝えたい。
自分の出来る範囲で
農業女子プロジェクトの次のステージに向けた検討や提案
取り組みたい事はあるけど、モヤモヤしててまだ言葉に出来ません！
自分ひとりで出来ないことも沢山の農業女子通じて色々なことが出来れば嬉しいです。
農業女子祭
輸出についてのスキルが欲しい

Q4-2 セミナーで学びたいこと(複数回答)



項目	回答数
販売・プロモーション(PR方法等)	119
農業関連施策(GAP、輸出、6次化、収入保険等)	107
販路拡大	100
人材確保・育成	88
働く環境の整備	68
地域でのネットワーク構築方法	67
農作業安全	43
その他	13